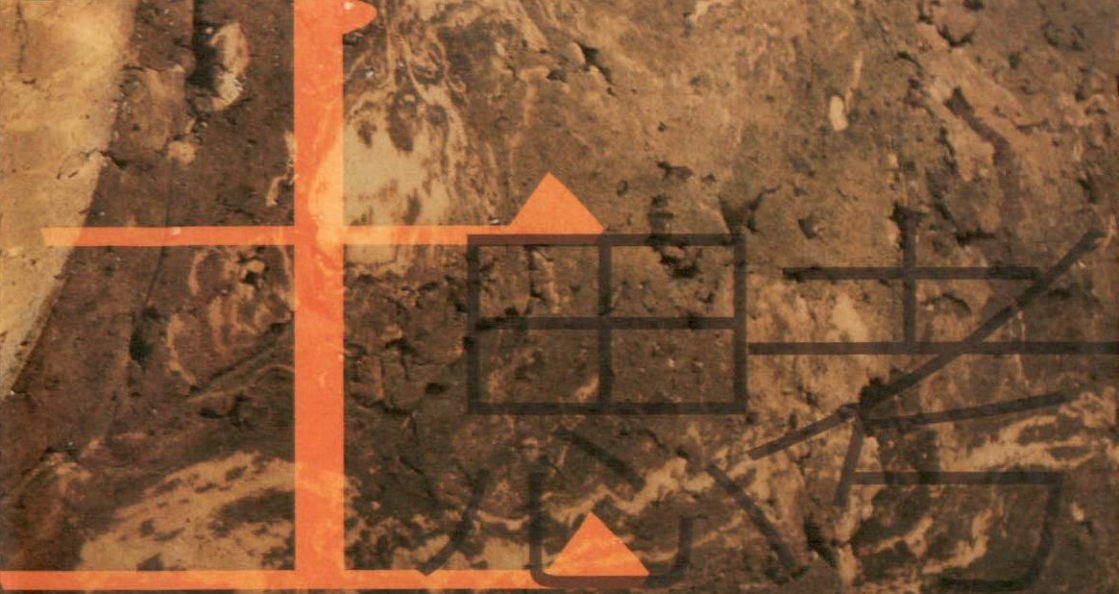




〒987-2302
宮城県栗原市一迫片子沢外の沢 11 Tel.Fax.0288-52-2811



泉 田 之 也 展
2014年4月20日(日) - 10月19日(日)

Kazenosawa

風の沢ミュージアム

Museum of Contemporary Art



- アクセス
- 東北自動車道IC 築館もしくは若柳金成下車
両ICからともに約25分
 - JR東北新幹線 くりこま高原駅下車
駅からタクシーで、約30分
 - 一迫総合支所前 仙台駅西口①乗場から高速バスで70分
東日本急行 一迫総合支所前線
 - 築館 仙台駅西口①乗場から高速バスで60分
東日本急行 栗原市金成庁舎前線
 - 有賀沢 築館から20分/市民バス 岩ヶ崎線
 - 一迫商業高校前 築館から15分/市民バス 花山線

現代美術館、民藝館、里山公園からなる複合施設
Website: <http://kazenosawa.jp>
E-mail: contact@kazenosawa.jp
Tel. Fax. 0288 52 2811

土思考 泉田之也展

展覧会情報

2014年4月20日(日) - 10月19日(日)

開館時間: 10:00~17:00 | 休館: 水・木 | 料金: 500円 | 駐車場: 約20台

10月は16:00閉館・未成年者無料・団体(20名様以上)は400円

開催趣旨

本展は、泉田之也にとって初の大規模個展として開催されます。今回初めて現代美術のジャンルで土を素材に大掛かりなインスタレーションを試みる泉田之也は1966年岩手県生まれ。1992年小久慈焼窯元岳芳氏に師事した後、1995年から現在に至るまで岩手県の野田村にて作陶をしています。オブジェや器の作陶は、数々の陶芸展で受賞し、日本や世界の工芸展での仕事が彼の経歴を形作っています。土の持つ素材感をどこまで引き伸ばし、ダイナミックな形に転移できるのか。彼が土に魅力を感じた、地層や土間の質感。その魅力の根源を探りながら、彼の繊細な折りや重ねの仕事がインスタレーションでも味わえます。脳まで行くには遅すぎる、土を触る手で思考する。彼の手は様々な事を知っていると云います。手触りを視覚に変換した作品をお楽しみください。(ディレクター/ユミソン)



『折』 W45 cm



『丘』 W90 cm



『積層フタモノ』 W30 cm

関連企画

4/20(日) オープニングセレモニー 11:00~14:00

6/01(日) アートお茶会 15:00~ [料金] 1,500円(予約制)

お堂にて、現代美術館で展示中の泉田之也さんが作陶した茶道具を使い、アートお茶会を開催します。作家みずから土にまつわる作品のお話や、森のお話をします。形式張ったものではありませんので、お気軽にご参加ください。

7/27(日) ワークショップ 野焼きをしよう! 13:00~16:00 [講師] 泉田之也 [料金] 1,500円

敷地内案内図

- 1 板倉
- 2 母屋
- 3 厩
- 4 板倉
- 5 御堂
- 6 見晴らし台
- 7 お墓
- 8 ホール



風の沢ミュージアム

は現代の里山を、民藝館、

現代美術館、ショップ&カフェ、

里山公園、宿舍等で構成した複合施設

です。駐車場を上がると、『民藝館』展示

室に生まれ変わった大正時代の建築、板倉の倉

庫①が目に入ります。二百年の時を過ごした茅

葺きの母屋『現代美術館』②は、囲炉裏のある土間

と和室二部屋を展示室としています。その後ろに移

築した板倉④は外装をそのままに展示用の内装を施

しています。新たに作られた御堂⑤では景色を楽しみながら

一休みができます。裏山を上がっていくと、晴天の日は栗駒山が望める見晴らし台⑥があり、ぐるりと一廻りして厩③に戻ります。厩には囲炉裏のある土間と客間があり、ご予約にて里山の生活を体験いただけます。平成二十六年春にオープンしたショップ&カフェ⑧は、山面がガラス張りの木造ホール。不定期にてワークショップや演奏会なども行われます。里山公園内の野外ステージでは毎年秋に土器作りや東北の伝統芸能が一同に介した土と火の祭り『くりはら万葉祭』が開催されます。

